

関東甲信越地区計量協会・計量士会合同連絡協議会を開く

計量士の職域拡大や、適管事業所の自主管理拡大など12件を討議



協議会の様子



計量制度の見直し状況の報告を説明する行政室長

計量法改正への要望も出る 行政室長「意見を出してもらいたい」

2005年度の関東甲信越地区計量協会・計量士会合同連絡協議会が10月4日、東京・千代田区の九段会館で開かれた。10都県から計量協会会員、計量士など約250名が出席した。同協議会は03年から、関東甲信越地区の計量協会と計量士会の合同会議として開催されている。本年度は第3回合同連絡協議会として(社)東京都計量協会(渡部勉会長)と東京計量士会(白石清会長)が合同で開催実行委員会(若下貞治委員長)を組織して準備を進めてきたもの。全体会議方式で、計量士の職域拡大や適管事業所の自主管理拡大、計量法改正への要望など含めて12の議題を討議した。藪内雅幸経済産業省計量行政室長が、現在計量行政審議会にて審議されている計量制度の見直し作業の現状を説明した。上村雄彦千葉大学大学院公共研究センターCOEフェローが講演した。演題は「日本が変われば世界が変わるーいまこそ日本の自立をー」。次期開催県は神奈川県。(関連記事2面)

協議会から功労者4名に感謝状と記念品を贈呈した(氏名は2面)。

協議会は、渡部勉(東京都計量協会会長)と白石清(東京計量士会会長)が共同議長となり12の提案議題(別項)を討議した。内容は、計量士の職域拡大や、適正計量管理事業所の自主管理拡大、計量組織の活性化、計量知識の普及、計量法改正への要望などがあり、関連するの議題を一括して討議した。要望事

日本計量新報

計測と科学
計量士会
計量士会

計測と科学
計量士会
計量士会

Yamato
業界初の標準自主管理を
推進で作業効率アップ
デジタル式上皿自動はかり

"UDS-1V/1VD"
天和衡術株式会社
電話 0781-918-8577

上皿デジタルはかり
5.000g
デジタル式上皿自動はかり

項に関しては、日計振へ要望書を出す。

特に、現在審議中である計量制度の見直しに関しては、議題提案県の一つである千葉県計量協会の齊藤勝夫会長が、①国や地方公共団体は、すべて公開原則できちんと情報を提供してほしい、それに対して②我々も大いに。地方あつてその日計振であるとし「ぜひ日計振は、私たちの意見をまとめて審議に反映させてもらいたい」と要望した。日計振に対し要望書を出すことを参加者全員で決議した。

次期開催県は、神奈川県に決まった。(提案議題協議の詳細は次号以下)

協議終了後、上村雄彦千葉大学大学院公共研究センターCOEフェローが「日本が変われば世界が変わるーいまこそ日本の自立をー」の演題で講演した。

提案議題

①栃木県計量協会計量士部会⇨スーパー大型店における計量士の活用②埼玉県計量士会⇨代検査制度に関する業務領域拡大について③神奈川県計量士会⇨計量士による民間活力導入について④神奈川県計量士会⇨適正計量管理事業所における自主管理の拡大について⑤長野県計量管理協会⇨トラススケール(大型はかり)設置届等の義務化について⑥新潟県計量協会⇨計量士部会⇨計量法関係ガイドライン集の公表について⑦東京都計量協会⇨地域における計量思想普及活動の事例と取り組み強化⑧東京計量士会⇨学校対象の計量知識普及啓発事業について⑨東京都計量協会⇨(報告)寒暖計製作教室から出前計量教室へ⑩同⇨ユーザーと最も近い計量の安全の担い手⇨計量器コンサルタント⇨制度の強化発展と活用を願う。⑪東京計量士会⇨計量法改正答申作業にあたって、望むこと⑫

午後5時30分から懇親会が開かれ、情報交換をしたり、交遊を暖めたりした。

千葉県計量協会⇨「新しい計量行政の方向について」計量行政審議会の審議経過と今後の動向について、次の事項の実効ある実現策の行動を望みます。①国及び地方公共団体の公開の原則による情報提供と説明、②地方計量団体の意見・要望の開陳と集約(ブロックと全国)、③当局の今回の公開の原則に呼応できるか、(社)日本計量振興協会の真価が問われるときである。

藪内雅幸経済産業省計量行政室長の「計量制度の見直しの現状の説明」と「感謝状と記念品を受けた方々の氏名」は、2面に掲載。(編集部)

今週の主な記事

- ① 関フ口協議会開く、第3WG第3回開く
- ② 東京計量士会が研修開く、経済産業省人事
- ③ 計量士会をさぐる会2005
- ④ 計量制度検討小委第3WG第2回開く
- ⑤ 第1回計量行政審議会資料(計量法改正情報BOX更新)
- ⑥ 寄稿・横須賀健治氏、小川実吉氏
- ⑦ 私の履歴書 齊藤勝夫氏 社説 計量士とくち×モ
- ⑧ 私製品ニュース、チノノ台湾で大学共同研究

MRA IAJapan JCSS 0165

当社は、測定基準としてJIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) を用い、測定メーカISO/IEC 17011に認定されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運用している測定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋試験所認定協力機関 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機関 (ILAC) の相互承認に署名しています。

分銅・おもりのJCSS校正と各種精密分銅の供給メーカー

JCSS校正は短納期且つ適正価格で行います。

お問い合わせ下さい

〒304-0031茨城県下妻市高遠祖4219-2
TEL(0296) 43-7021 FAX(0296) 43-8150
http://www.taisho-balance.co.jp

株式会社 大正天びん製作所

